

桐生市議会 議会改革調査特別委員会 行政視察報告書

| | |
|------|--|
| 視察都市 | 東京都 八王子市 |
| 視察日時 | 令和 4 年 11 月 1 日 (火) 10 時 00 分 ～ 11 時 30 分 |
| 視察項目 | 議会における ICT 化 (ペーパーレス) タブレット端末の導入と活用実態 (利用状況) について |

■ 視察内容:

◎ 面談者:

八王子市 議会 副議長 中島正寿様

八王子市 議会事務局 庶務調査課 課長 小池育英様

◎ 八王子市の概要:

東京都の多摩地域南部に位置。2015 年に東京都で初めて中核市に指定。多摩地域内で最も人口が多く (2021 年時点)、都内唯一の中核市となっている。東京府 (現在の東京都) において、東京市 (現在の東京 23 区) に次いで 2 番目に市制を施行した市でもある。人口は約 56.3 万人 (令和 4 年 8 月末現在)、都内では東京都区部に次ぐ第 2 位。面積は奥多摩町に次いで、東京都の市区町村で 2 番目に広い。また、多くの大学もあり、大学都市の特徴を有する。古来より盛んであった「桑都」としても名を残す。

八王子市 市長: 石森孝志氏

八王子市議会 議長: 吉本孝良氏、定数 40 名 (2019/5/1-2023/4/30)

◎ 議会における ICT 化 (ペーパーレス)、タブレット端末の導入と活用実態 (利用状況) について:

議会でのタブレット使用について

タブレット使用によるメリットおよびデメリット

【メリット】

- ・議案や予算書、各種会議資料のペーパーレス化
- ・大量の資料を迅速かつ同時に全議員へ提供でき差し替えも容易
(何より公平性を期することができる)
- ・過去に配布した資料を容易に閲覧できる
(「文字検索」をすることで横断的な閲覧が実現できる)
- ・オンライン会議の実施 (その詳細はこれからの協議を予定)

【デメリット】

- ・通信障害や端末に不具合が生じると全ての資料が閲覧不能に
(幸いこれまでにそうした不具合には見舞われていない。が、
有事に備えて2系統確保の必要性について声は挙がっている)
- ・複数の資料が閲覧できない (2画面までしか表示できない)
- ・本体が重く持ち歩きに不便 (本体 700g+付属品で 800g ほど)
- ・操作スキルに差が生じる
- ・電源コンセントやモバイルバッテリーの準備が必要
(100%充電時で約 10 時間の標準使用が可能だが、個人差あり。
電源コンセントを各人用に整備するには至っていない)

タブレット使用による経費、使用の制限等について

【タブレット端末の基本情報】

- ・機種は iPad Pro (第 5 世代)、12.9 インチ、WiFi+Cellular
- ・議場や委員会室等には議員が接続できる WiFi はなく LTE 通信
- ・キャリアは NTT docomo を採用、4 年リース
- ・故障、盗難、紛失等の端末保証あり (回数無制限・自己負担なし)
- ・経費概算は以下のとおり

① ソフトウェアライセンス料等： 1,122,000 円 (年額・税込)

SideBooks 基本料： 20,000 円/月 (1GB 仕様)

通信容量追加 (10GB)： 45,000 円/月

ライセンス (100 ID)： 20,000 円/月

(議員 40+市側 55+事務局 5)

その他、導入初年度の初期設定費用 80,000 円、講習会費用
165,640 円 x 2 回の別途経費が発生した。

② タブレット端末通信料等： 3,603,420 円 (年額・税込)

基本使用料（1回線）：6,673円/月 x 45台=300,285円/月
通信容量10GB、端末分割金、補償オプション等
その他、導入初年度の初期設定作業委託料173,250円の別途経費が発生した。

【タブレット使用の制限等】

- ・「八王子市議会会議システム用タブレット端末機運用規定」に適切な利用を求める内容を定めている。
- ・広く議員活動において積極的に活用できるよう配慮している。

タブレットの利便性向上のために使っているアプリとその効果

- ・SideBooks（会議アプリケーションソフト）… 上述のとおり
 - ・LINE … 緊急時のポップアップ
SideBooksのリンク貼付により資料検索が容易に
 - ・Googleカレンダー … 会議日程の共有、変更時の一斉更新
 - ・ZoomおよびMicrosoft Teams … オンライン会議・視察開催用
 - ・CLOMO MDM（Mobile Device Management）… 端末管理システム
- これら初期導入アプリ以外のアプリについては、議員活動として使用する場合に限り使用を認めている。（有料アプリは各自負担）

ペーパーレス化に至るまでの経緯

- ・平成27年9月～28年3月：八王子市議会ICT検討会を設置。（実際にはその後3年間、特段の進展は見られず。）
- ・令和2年5月：改めて議長諮問機関としての検討会を設置。
- ・令和2年6月：議会改革を推進する会議を設置。（第一回）
- ・令和2年7月：第二回推進会議を開催。
- ・令和2年8月：第三回推進会議を開催。
- ・令和2年10月：第四回推進会議を開催。
SideBooksのデモンストレーションを受講。
- ・令和2年11月：第五回推進会議を開催、立川市議会を視察。
- ・令和2年12月：第六回推進会議を開催、翌年度予算要求実施。
- ・令和3年1月：第七回推進会議を開催、最終答申を決定。
- ・令和3年3～8月：「ICT」導入準備会を設置、計6回開催。
- ・令和3年8月：議員「ICT」研修会を開催、貸与開始。
- ・令和3年10月～：「ICT」導入検証会議を設置、検証と改善及び

ペーパーレス化等について協議、現在に至る。

議会質問におけるタブレットの使用の可否

- ・会議中のタブレットの使用については「八王子市議会会議システム用タブレット端末機運用規定」に定められている使用制限を遵守すれば、質問時においてもタブレットを使用することは可能。現在までの使用例は概ね以下のとおり。
 - 本会議一般質問の際、議員自身が作成した質問原稿の読上げ
 - 委員会等の際 SideBooks に掲載されている会議資料等の閲覧
 - キーボード入力による発言、答弁の記録や整理

ペーパーレス化の考え方と連絡方法等

- ・データ化できるものはペーパーレス化し、基本的に SideBooks を見れば市側の必要な情報が閲覧できるように推進する。
- ・但しなんでもかんでも共有することでパンクすることがないように SideBooks 掲載時には事務局が一度フィルターをかけている。
- ・議会事務局からの連絡や通知は SideBooks 掲載と併せ、LINE を活用している。
- ・但し会議資料については原則として「紙」との併用を継続中。

タブレット端末関係の政務活動費（事務費）の考え方

- ・画面保護フィルム、保護ケースやカバー、モバイルバッテリー、ケーブル、Apple ペンシル（消耗品のペン先のみ）等を許容。有料アプリは自己責任（議員活動として使用することを市民に合理的に説明できる場合）で判断とする。

その他の活用方法について

- ・一般質問等のパネル（pdf 化されたものに限る）は事務局経由の SideBooks 掲載により、情報共有を許可する。
- ・双方向的要素のある答弁調整他、議員と市側が直接遣り取りをするようなものは SideBooks 上では行わず、今後の検討課題とする。

【質疑応答（事前質問に対する回答）】

Q 「クラウド型情報共有ツール」および「タブレット端末」導入によるペーパーレス効果はどれほどのものであったか？

A 2021年第3回定例会からの約1年で、62万枚（ひとり当たり600枚）ほどの削減効果があった。金額ベースでは△約310万円ほど。

Q 数多くあるアプリケーションソフトがある中で、SideBooksの導入を最終決定した決め手は何であったか？

A 立川市議会他での多くの採用実績、資料閲覧を重視したことより、検索のし易さからSideBooksの導入を決定した。moreNOTEの検討も行ったが、3階層までしか設定できない点が懸念事項であった。

Q タブレット端末利用にあたっての「公私切り分け」はどのように管理もしくは規制をかけているのか？

A 上述のとおり「八王子市議会会議システム用タブレット端末機運用規定」に適切な利用を求める内容を定めている。会議中における端末機の使用制限（NG例：メール送信、SNS投稿、通話や録音、撮影、操作音）他、様々な規定を設けているが、原則として広く議員活動において積極的に活用できるよう配慮した内容であり、自己責任においてフルにその機能活用を図って頂きたいと考えている。

Q ライセンス取得しているタブレット端末は市全体で何台あり、議会側と行政側のそれぞれの台数は？

A ライセンスのID数は100ID、内訳は議員40 + 市側55 + 事務局5。

Q タブレット操作の不慣れな方へのサポートについてどのようになっているのか？

A 各会派からICTに長けている人物に代表出席を頂き研修を行っている。

【質疑応答（当日質問に対する回答）】

Q 政務活動費と議会費とで按分等の措置は行っているか？（久保田委員）

A 通信費上限を設ける等はあるが、按分は行っていない。原則として自己責任（議員活動として使用することを市民に合理的に説明できること）とする考え方に基づいて運営を行っている。

- Q 導入にあたり反対や懸念をする意見はなかったか？（北川委員）
- A 相応に異議はあり、当初3年間に亘り特段の進展を果たせなかったことも事実。操作不慣れやICTに疎い方々からの異論が多くあった。それでも必須と捉え、導入に踏み切った。
- Q Cellular仕様としたのは何故か？
- A 議場内で市側WiFiとの混線を避ける目的もあるが、自宅他さまざまな場所での活用を図ってもらうために、どこでもアクセスできる公平な共通環境を提供するべき、との判断に基づく。
- Q 現在の議員の平均年齢は？（周藤委員）
- A 上は70歳、下は28歳で幅広い年代層の議員がそれぞれにタブレットの活用を推進している。
- Q 予算や決算についてはどのように行っているか？（園田委員）
- A サマリー版をSideBooks共有する等を行っているが、紙媒体を併用せざるを得ないケースを伴う会議体はある。予算や決算はその代表例。尚、紙媒体についてはタブレット導入の当初は併用を原則とし、実際17/40名の議員から紙媒体を欲する声があったが、約1年が経過をし徐々に求める声は少なくなっている。
- Q 使い勝手で気になる点は他に何かあるか？
- A 「あいまい検索」や「キーワード検索」的なことができず、そのままの文言ズバリでなければ検索にかからないのが難点と言えれば難点である。

■ 行政視察 所感:

- ◎ DXの推進が図られる中、教育場面においては生徒ひとりにつき一台のタブレットが整備され、日常生活にあっても様々な電子機器ツールの活用により、多くのリサーチやコミュニケーションがリアルタイムで図られていく、そうした「スピード」の求められる時代へと突入していることは今更言及するまでもなく、外部・内部環境に沿った議会のICT化は必須の取組み事項と認識をする。
- ◎ 通信網の発達により現在4Gは5Gに置き換わりつつあり、その先の6Gに至れば瞬時の情報処理が可能な時代へと向かっていくことは想像に難くない。これまで「一部の長けた人」だけが駆使してきたツールという通念

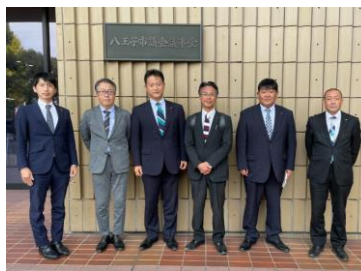
は排除し、「全員が有効的に」活用することのできるツールに変えていく必要性を喫緊の課題として受け止める。

■ 視察成果による当局への提言または要望等：

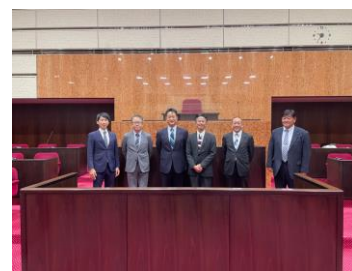
上記所感に通ずるが、喫緊にその必要性を伴う内容であり、早期の導入については特に異論は生じないものとする。SideBooks に関して言及すれば、既に 560 件にも及ぶ各自治体での採用実績を有していることから、こうした ICT 化の動きが全国的に加速していることを疑う余地はなく、桐生市にあってもその機運に遅れることなく、新市庁舎建設時に予定するインフラ整備内容との連携をしっかりと図りながら、スピード感を持っての具体的な検討に入って頂くことを要望する。尚、その活用にあたってのリテラシーについては原則として、議員各々の自己責任（議員活動として使用することを市民に合理的に説明できること）に帰することとする。問題はないものとするが、ペーパーレス化に向けた移行期間中や「紙媒体」ならではのメリットが確認できる多くの会議体においては、当面併用とする柔軟な対応を要望すると共に、操作スキルの継続的な向上トレーニングの場を頻度多く設けて頂き、全員が有効的に活用し、かつ効率化を最大限に実現することのできるツールとすることを追求していくことを併せて要望したい。



↑ 八王子市役所全景



↑ 八王子市議会議事堂前にて



↑ 議会議事堂内にて

以上